



月刊宮司プレス 第二百三十三号

彦島八幡宮 宮司ニユース
発行者 彦島八幡宮
宮司 柴田 宜夫
発行 令和七年 十月 十四日

◇宮司の柴田です。 お待たせしました、月刊宮司プレス第二百三十三号の発行です。 十月だというのに、猛暑日の日々です。 じつは、夏が三週間も延びているようで、春と秋が確実に短くなっています。 海面温度が、なかなか下がらないために、気温も上昇したままなのだそうです。 既刊号にも詳述しましたが、こ

の地球環境問題は、「ポイント オブ ノーリターン」、もう、後戻りができない状況です。

◇十月は、古いにしえから別称べつしょうとして「神無月かみなづき」といわれます。「神無月」の「な」は、「の」にあたる連体助詞「な」にあたることから、神の月の意味ではないかと思えます。 また、古来、

日本国中の神々が、出雲大社いずみおほやしろに参集さんしゅうされるといふ俗信ぞくしんに基づき、他の国に神様がいなくなるといふことと、「神無月」と考えられてきました。 したがって、出雲の国では、十月の異称いしやう

を「神在月かみありづき」というのだそうです。 さて、今年ことしの「中秋の名月ちゅうしゅうめいげつ」は、十月六日でした。 当宮の境内では、過日の十月

七日、「美酒に感謝の会」主催による、「観月祭かんげつさい」が斎行さいこうされました。 そもそも、仲秋の名月のことを、「芋名月いもめいげつ」ともいうのですが、これは、お月様に、収穫された芋をお供えする風習があったからです。 また、旧暦九月十三日は、「十三夜月じゅうさんやづき」ですが、またの名を「豆名月」、

「十三夜」といって、やはり、お月様に「枝豆」や「栗」をお供えする風習からなのだそうです。

ちなみに、「中秋の名月」を愛でたら、「十三夜月」も愛でなければ、「片見月かたみつき」といって縁起が

悪いとされました。 それは、本来「お月見」

は、月の明かりの下で、音曲おんきょくを奏かなで、老若男女ろうにやくなんによ飲んで騒いで、風紀を乱すような宴うたげを繰り広げるようなものではありませんでした。「明」

という漢字は、月の光がこぼれる場所に、祭壇さいだんを設けて祈りを捧げている様子を表しているのです。 悠久ゆうきゅう（はてしなく遠い昔の事）の

縄文時代じようもんじだいから続く、畑の穀物の豊穰ほうじやうを祈る神事かみことだったので。 したがって、諸説あります

が、その本来の神聖しんせいなる神事の意味を忘れないために、「片見月」といわれるようになったとも考えられています。 ちなみに、今年の「十三夜月」は、十一月二日です。 忘れずに愛でて、「片手落ち」ならぬ「片見月」にならないようにつとめたいものです。

◇平安時代中期の貴族で、藤原一族の氏うぢの長者ちやうじやであった藤原道長が詠まれた有名な和歌、皆様、御存知ですか。

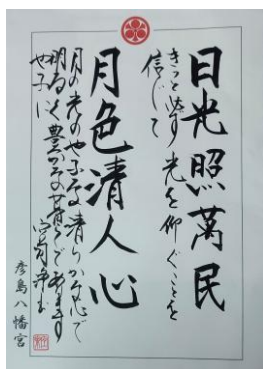
「この世をば 我が世とぞ思ふ 望月の欠けたることも なしと思へば」、この和歌

は、三女の威子さんが後一条天皇の皇后になられた、いわゆる立后された祝いの席で、即興で詠まれた和歌と伝わっています。娘さんは皇后、お孫さんも天皇という栄華を極めた、藤原道長の感慨が伝わってまいります。しかし

ながら、平家物語の冒頭に、「盛者必衰の理を表す」とありますように、やはり、久しからず、永くは続かないものですから、その栄華さえも、はかないものなのです。神道のお葬式の誄詞に、私は、「花は散りてもまた咲き、月は欠けてもまた満ちなむものを 玉木春（命にかか

る枕詞）人の命はさにあらず」と奏上しました。限りある命の尊さと、それゆえのむなしさを言の葉に託しているのです。◇過日の観月祭には、当宮の正面鳥居の柱に刻まれた文字を浄書した色紙をお配りしました。下の写真のとおりです。 日の光は、どんな時

にも誰にでも、へだたりなく照らします。したがって、きっと必ず光を仰ぐことができることを信じて、前向きに生きてゆこうという教えだと思えます。そうであればこそ、月の光が私共の心を清らかにしてくださるように、明るく豊かな暮らしを心がけましょうという、励ましの言葉、だとも感じます。



◇アメリカ合衆国の第三十二代フランクリン・ルーズベルト大統領は、「最初に月を取りに行け、なぜならば、たとえ取り損ねても、そこから星を目指すことができる」といわれました。私共の生活をおびやかす物価高等、厳しい世相ではありますが、限りある命であればこそ、月から星を目指すように、前向きに明るく豊かな暮らしを心掛けたいものです。そのためにも「神祭る月」、真心込めて例祭を御奉仕申し上げたいと思いを新たにしています。

- ◇十月の祭典行事報告（予定も含む）
- ▼月次祭 *十月一日、十五日
- ▼貴布禰神社月次祭 *十月一日

- ▼六連島八幡宮例祭 *十月四日～五日
- ▼観月祭 *十月七日



- ▼田の首八幡宮例祭 *十月十一日～十二日
- ▼例祭 *十月十七日～十九日
- ◇十月の宮司動静（予定も含む）
- ▼神社関係団体
- ◆敬神婦人会清掃作業 *十月十二日
- ▼神社庁関係
- ◆正副庁長会議 *十月十四日
- ◆豊浦支部懇談会 *十月十六日
- ◆役員会 *十月二十日
- ◆支部長事務局長会議 *十月二十一日
- ◆神宮大麻頒布始祭 *十月二十一日
- ◆全国神社総代会総会 *十月二十八日
- ◆阿萩支部神宮大麻頒布始祭出向 *十月三十日
- ▼自治会、学校関係、人権相談員、その他
- ◆しものせき木鶏くらぶ *十月一日
- ◆人権相談 *十月二日
- ◆迫町自治会役員会 *十月十五日
- ◆教誨活動（美祢社会復帰促進センター）
- ◆集合教誨（女子） *十月六日